

月刊『ソトコト』で好評連載中！
エコやロハスを身近に感じる環境広告【エコアド】

ソトコト ECO-AD 展

2004年から、環境ライフスタイルマガジン『ソトコト』で連載の始まったECO-AD(エコアド)。アートディレクターの本田晶大氏が、環境問題を明るく、かわいく、わかりやすく、伝える、大好評企画が、青山ブックセンター本店の特設スペースに大集結します！

ソトコト ECO-AD 展

■日時 7月12日(土)～7月31日(木) 11:00～21:00

■会場:青山ブックセンター本店 A 空間

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山ガーデンフロア(B2F)

TEL.03-5485-5511

本田 晶大 ほんだまさひろ

武蔵野美術大学卒業 博報堂を経て現在電通勤務。

主な受賞歴 日経広告賞 朝日広告賞 毎日広告賞 JR東日本ポスターグランプリ



ロハスピーブルのための快適生活マガジン

ソトコト

毎月5日発売 定価 800円

8月号:使えるエコ用語大辞典

トークショー開催決定！！ 小黒一三(ソトコト編集長)×本田晶大(eco-AD)

7月27日(日) 15:00～(開場 14:30～)

■入場料 無料 要電話予約 ■定員 40名様 ■受付開始日 7月7日(月)10:00～

■電話予約&お問い合わせ電話: 青山ブックセンター本店 03-5485-5511(受付時間:10:00～22:00)



ECO-AD:温暖化 「陸がなくても生きていけるのはね、おさかなさんだけだよ。」



ECO-AD:水質汚染 「鯛? 鯖? 鱈? 鰯? 鱈? 魚ゴミ?」



環境月間①: 大気を考える

「お兄ちゃまみたいにオシャレをするには、もう少し時間かかるワ

ECO-AD は 2004 年 10 月号から掲載され今月号 (2008 年 8 月号)で 45 本目を制作。掲載当初は環境問題まだまだ堅苦しいもので、僕らの使命としては、その堅苦しさを拭い去ることでした。『ソトコト』自体が堅苦しくない環境雑誌のバイオニアだったので必然的にそうなったともいえます。環境問題を明るく解りやすく伝えることで、少しでも環境問題に対して理解と行動をしていただければうれしいです。 (本田晶大)

アートディレクターの本田晶大くんは天才である。 小黒一三(ソトコト編集長)

ソトコトの表紙と ECO-AD(エコアド)は、彼の珠玉の作品群だが、そもそも、「ソトコト=エコでファッションブルな雑誌」というイメージの形成は、彼のアートワークなくしてはなし得なかったと思う。彼自身ハイブリッドカーに乗り、地球や動物、子どもたちの未来について真剣に考えるやさしい気持ちを持つエコなおトコ。その人柄が、ECO-AD にはよくにじみ出ている。ハツとするような題材を、カラフルに、そしてポップに、ともしれば暗鬱になってしまう環境のテーマを明るく、ユーモラスにビジュアルで語り、読者を引きつける手腕は彼のオリジナルだ。ここに展示した ECO-AD は、特に思い出深いものばかり。時事問題をうまく昇華しているね。私も毎月、彼からあがってくるアートワークにほれほれしつつ、環境問題は楽しく語らなきゃだな、とお茶を飲みつつ自答しているのである。

【お問い合わせ】 株式会社 木楽舎 (きらくしゃ) 〒104-0045 東京都中央区築地 7-12-7 築地 FTS ビル 5F
志村みどり TEL 03-3524-9572 mail shimura@sotokoto.net